

第 57 回技能五輪全国大会 「冷凍空調技術」職種 職種連絡会議事録

1. 日時 2019 年 9 月 25 日 (水) 14:00~16:45

2. 場所 東京八重洲ホール 2F 「201 会議室」

3. 出席者

【順不同、敬称略】

区分	氏名	所属先名	都道府県
1 運営委員	坂口 正友	一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会	—
2 競技委員	井澤 秀昭	一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会	—
3 競技委員	渡邊 学	神奈川県立産業技術短期大学校	—
4 競技委員	仲村 直基	埼玉県産業労働部	—
5 競技委員	近藤 務	一般財団法人日本空調冷凍研究所	—
6 競技委員	佐藤 英治	一般社団法人日本冷凍空調工業会	—
7 競技委員	柳沢 祥博	一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会	—
1 参加企業等	鈴木 清秀	山形県冷凍空調設備工業会 副理事長	山形県
2 参加企業等	遠藤 貴弘	福島県立テクノアカデミー会津 電気配管設備科	福島県
3 参加企業等	沼田 芳範	水戸産業技術専門学院	茨城県
4 参加企業等	井上 一輝	田崎設備株式会社	栃木県
5 参加企業等	野中 光輝	田崎設備株式会社	栃木県
6 参加企業等	中村 拓矢	栃木県立県央産業技術専門校 本科建設設備科	栃木県
7 参加企業等	瀬下 哲男	(株)ヤマト	群馬県
8 参加企業等	岡村 隆司	JR東日本テクノロジー(株) 本社人材育成部中央研修センター	埼玉県
9 参加企業等	小林 陽平	JR東日本テクノロジー(株) 東京支店	埼玉県
10 参加企業等	猿渡 恵一郎	JR東日本テクノロジー(株) 本社人材育成部中央研修センター	埼玉県
11 参加企業等	二平 直哉	JR東日本テクノロジー(株) 大宮支店	埼玉県
12 参加企業等	戸張 和明	埼玉県立中央高等技術専門校	埼玉県
13 参加企業等	菊川 寛樹	東京交通サービス株式会社	東京都
14 参加企業等	白瀬 優	東京交通サービス株式会社	東京都
15 参加企業等	手島 康至	東京交通サービス株式会社	東京都
16 参加企業等	塩入 健太	日本ピーマック株式会社	神奈川県
17 参加企業等	山内 義勝	日本ピーマック株式会社	神奈川県
18 参加企業等	原 正俊	オリオン機械株式会社	長野県
19 参加企業等	緑川 謙太	オリオン機械株式会社	長野県
20 参加企業等	安藤 一雄	オリオン精工株式会社	長野県
21 参加企業等	紀本 悟	日立ジョンソンコントロールズ 空調(株)	静岡県
22 参加企業等	伏見 栄一	日立ジョンソンコントロールズ 空調(株)	静岡県
23 参加企業等	坂入 丈司	菱信工業株式会社 中部支社	愛知県
24 参加企業等	橋部 俊男	菱信工業株式会社 中部支社 安全品質課	愛知県
25 参加企業等	伊波 正司	三栄工業株式会社	沖縄県
26 参加企業等	仲村渠 悟	三栄工業株式会社	沖縄県
1 開催県	柴田 忍	愛知県庁	—
2 事務局	栗原 強	中央職業能力開発協会	—
3 事務局	尊田 孝夫	中央職業能力開発協会	—
4 事務局	吉川 信一	中央職業能力開発協会	—
欠席	斎藤 泉	株式会社 大西熱学	—

4. 議題

- (1) 出席者の紹介
- (2) 第 57 回大会競技課題について
- (3) 競技会場について
- (4) 事務連絡
- (5) その他

5. 配付資料

- (1) 議事次第
- (2) 出席者名簿
- (3) 会場視察報告
- (4) 45回技能五輪国際大会（カザン）大会報告

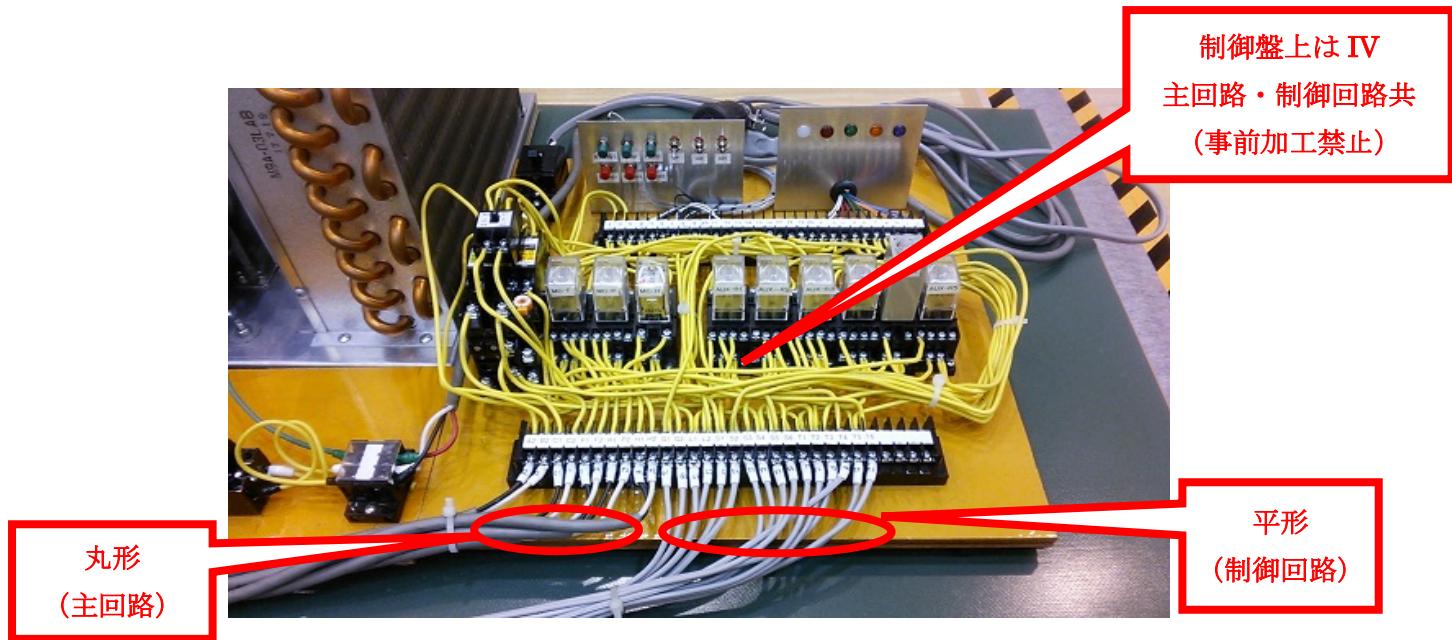
6. 議事

(1) 出席者の紹介

当議事録の出席者名簿に差し替え願う。全出席者の自己紹介を実施。

(2) 第57回大会競技課題について

1. 参加者予定当初36名だったが暫定35名。
2. 今回の協賛（無償提供）の紹介。
 - ・(株)鷺宮製作所 膨張弁、電磁弁、低圧圧力開閉器、電子サーモ、ドライヤ、サイトグラス
 - ・橋本総業(株) 競技用材料
 - ・(一社)中部冷凍空調設備協会 冷媒回収機一式レンタル
3. 初めて参加する企業があるため改めて競技課題の説明を行った。
4. 課題図面I-2 冷媒配管系統図で、ドライヤとサイトグラスの位置は、正式には上流側にドライヤが正しい。選手に十分な説明願う。
5. 競技前日に行う作業で、支給材料の確認や、リークテスタを使用してのコンデンシングユニットのガス漏えい確認はこの日のみとなる。
6. 競技終了後のポンプダウンは、採点の都合上作品を解体するため、しっかりと引き切って欲しい。必要に応じて数回行う。
7. 注意事項にある「競技委員等以外の者との一切のコンタクトを禁止する」は目配せも不可。
8. 公表課題p5/10 持参工具一覧表 最上部スパナはトルクレンチNG。
9. 公表課題p5/10 持参工具一覧表 中ほどの「圧力調整用アダプタ」は、現地のボンベが西日本仕様の場合オースース、東日本仕様の場合メス一メスのアダプタを運営側が該当選手分用意するよう要求中なので持参不要となる。
10. 公表課題p5/10 持参工具に記載がないが、水槽の給水用にペットボトルを持参して使用することは可。
11. 課題図面I-16、I-17でボールバルブは、冷媒配管の気密試験時は電磁弁保護のために「閉」とするため、ボールバルブ～電磁弁の間の配管は真空放置にて気密を確認すること。
12. 課題図面I-1 「端子台C」は「端子台D」に修正願う。
13. 公表課題p8/10 3 絶縁抵抗測定要領 ③の「端子台C」は「端子台D」に修正願う。
14. 競技中の飲料物として、フタのついたペットボトルを持ち込むことは可。
15. 公表課題p8/10 2 気密試験、真空試験実施要領で、2分以上の真空放置を確認するため、真空ポンプを停止するときは競技委員等の確認を取り、停止した時間を記録してもらうこと。
16. 11/14(木)の工具搬入は、搬入経路の都合上 13～16時の間が受入時間となるため、調整願う。
17. 制御配線については、写真を参照のこと。



制御盤の配線と端子台 D (写真は前々回大会のもの)

18. 購入したコンデンシングユニットの液管－ガス管の間隔が図面上 113 ミリのところ 110 ミリである例があるが、この場合 110 ミリで水平に仕上がるように対応願う。
19. アセチレンボンベの接続について、逆火防止の有無や接続ホースの規格については既にメールにて配信済みだが、再度メールにて配信するので確認願う。
20. 持参工具のクランプメータは、電圧・電流共に計測できる物の使用可。
21. アセチレンの炎調整について、他選手の状況による変化の具合の確認として、競技前日の工具展開時にシミュレーションを行う。開会式会場が近く時間に余裕があるので、工具展開が終了してから行うので全選手に協力願う。

(3) 競技会場について

1. 会場のピットからアセチレン配管が立ち上がっているようで、立ち上がり部の処理によってガタが発生する懸念があるが、ガタがないように設営を依頼してあり、仮にガタがあった場合は、運営側で対応する。
2. 配付している会場視察報告の会場レイアウト案は決定ではなく、視察時の案であり今後変更される可能性大。
3. 図面上左側のホール C がイベント会場になるため、マイクの使用等、音が発生する可能性が大きいためシャッター全閉を要求しているが未定。
4. 同じホールに 8 職種があり、騒音により指示の伝達等が十分にできない可能性があるため選手に注意願う。
5. この会場で公開練習に参加したが照度が不足気味であると選手から指摘あり。
→運営側が計測したところ 300 ルクス。仮装天井は予算上無理のため、全作業台に Z ライトを設置するよう運営側に要望した。

6. 天井に換気ファンがあるようだが気流の問題はないか。

→競技中は空調をしない予定でありその問題はない。搬入口側のシャッターは全閉予定。

7. 工具搬入について、中央協会が一度集荷して会場へ搬入する制度があったと思うがそのお知らせは？

→当職種においては適用しない。各自で 11/14(木)13~16 時に調整願う。宛先には「職種名」明記、搬入先は「ホール D」となるが、詳細は約 1 ヶ月前に公表する参加要領を参照願う

(4) 45 回技能五輪国際大会（カザン）大会報告

オリオン機械(株)の原様より報告があった。

(5) その他

- 選手プロフィールの印刷物掲示（A3 用紙サイズ）及びモニターで放映予定。書式を主査よりメール送信するので、選手プロフィールの提出に協力願う。
- 提出先：日設連 井澤宛 izawa@jarac.or.jp 当方メール容量は 10MB／1 通
- 選手 1 名に付き、1 のメールで、件名に「都道府県」「所属」「選手名」を入力し、送信願う
- 提出締切 2019 年 10 月 18 日（金）

※議題になかったのですが、パネル蒸発器への着霜を促進するため、膨張弁の「感温筒」取付部分について、感温筒部分の「ウェスによる防熱」は可とします（強制ではありません）。
なお、その防熱作業は課題 I 内の作業とします。課題 I 提出後はその作業は認められません。
最終提出時も、その防熱をした場合は、そのままウェスで防熱した状態で提出となります。
（仕上げ状態は採点対象外）。

以上（191004 井澤）